

【な】～【の】

【な】

流れ行く 世を見守った 観音像

【に】

日光と 新緑求め 人集う

【ぬ】

ぬかるみを 一直線に 函館へ

【ね】

熱血漢 生命(いのち)をかけた 古戦場

【の】

農園の 畔地に眠る 無名の戦士

【は】～【ほ】

【は】

俳句額 神社に納め 無事祈る

【ひ】

日見ず木の 名残とどめる 杉美林

【ふ】

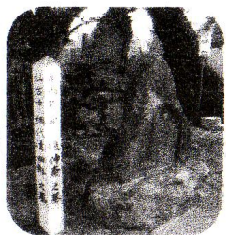
風雪の 峠に向かった 三四郎

【へ】

扁額が 語り続ける 養蚕の心

【ほ】

細長い 塹壕跡は 何語る



【ま】～【も】

【ま】

幻に 消えてしまった 大函電鉄

【み】

水不足 みごとに救った 大野灌排(かんばい)

【む】

昔鯉 今恋育つ 八郎沼

【め】

珍しき ユリノキ往く人の 足を止め

【も】

猛練習 大野ダイヤの 技光る

【や】～【よ】

【や】

優しさを 顔いっぱい 行者像

【ゐ】

岩山が 旅路遮る 旧街道

【ゆ】

行く人の 道標(みちしるべ)になった タモ大樹

【ゑ】

蝦夷の地に 初めて咲かせた 稲の花

【よ】

夜を徹し 安泰祈る 庚申塚



【ら】～【ろ】

【ら】

酪農の 盛衰を知る 大正サイロ

【り】

両軍の 御霊を祀る 戦没者の墓

【る】

土塁(るい)築く 養蚕事業の 夢をかけ

【れ】

靈魂よ 安かれと祈る 追悼会

【ろ】

六地藏 お寺の庭で 安全祈願

【わ】～【京】

【わ】

鰯口を 豊年祈って 打ち鳴らし

【を】

大野まで 汽車が走って 町はずみ

【京】

京文化 お雑子(お雑子)にのせ 蝦夷に咲く

